

〈委員会報告〉

広報・情報委員会の活動報告と今後の展開 (「二次情報中期計画」の策定)

広報・情報委員会委員長：町田 勝

はじめに

広報情報委員会は、(株)日本環境測定分析協会が行政と業界のパイプ役の立場をふまえ、環境測定分析技術、環境行政施策等に関する内外の情報を収集し、これらを会員に対して迅速に提供する目的で、1995年に名取昭平委員長の基で広報活動委員会から発展し新たに組織されました。

そして、情報中期計画を策定し、その計画に沿って日環協の広報情報活動を進めてきました。ここで、3年間の活動の内容を報告するとともに、

今までの活動を見直し今後の広報・情報委員会の進むべき方向を示したいと思います。

1. 活動内容

1995年度からスタートした委員会の活動は、3つのステップで行って来ました。

第1ステップは、初年度に行われた「情報中期計画」の策定で、これにより次年度から3年間の具体的な活動計画に反映することができるようになりました。また、この年に日環協のPRの為にパンフレットを見直し、現状に合った新版(日本語

表1 日環協の広報情報活動実績(1996~1998年度)

		1996年度	1997年	1998年度
ステップ	方針 テーマ	第Ⅰフェーズ 「パソコン通信試行」 事務局のOA化とパソコン通信の開始	第Ⅱフェーズその1 「ネットワーク応用展開」 ホームページの開設	第Ⅱフェーズその2 「ネットワーク応用展開」 ホームページの拡充
具体的テーマ	事務局	(OA化による効率向上) ・会計処理 ・FAXによる委員会等開催案内 ・会員連絡用ラベル作成 (機関誌) ・技術文献等の整理(キーワード化) ・技術文献等のデータベース化検討		(会員データベースの充実) ・会員情報 (機関誌) ・技術文献等の検索サービス検討
	会員間情報交換	(日環協の宣伝等) 「化学の広場」へのアクセスPR (情報発信) ・パソコン通信立ち上げ ・電子メール試行	(日環協の宣伝等) ・ホームページの作成及び登録 ・アンケートの作成、発信し解析 (情報発信) ・各委員会情報 ・各種会議開催通知	(日環協の宣伝等) ・ホームページの拡充 (情報発信) ・会員データ(リンク) (フォーラム開催) ・会員の広場の検討
	会員外情報交換	(各種情報サービスの具体化検討)	(各種情報サービス) ・セミナー等の案内	(各種情報サービス) ・セミナー等の案内 ・環境測定分析技術情報
設備等の対応		・コピーサーバへの参画 ・事務局用パソコンの導入 ・通信用パソコン、モデム、ソフト導入 ・通信用電話回線の加入	・ISDN設置	・通信用パソコン類の充実
予算		・通信用パソコン一式(30万円) ・ランニングコスト(1万円/月)	・ISDN設置(20万円) ・ランニングコスト(10万円/月)	・ランニングコスト(15万円/月)
備考課題等		・設置場所 ・情報管理者の育成	・Q&A回答者 ・データ入力(シスオペ)要員 ・官報等法規文の要約要員	・情報業務のアウトソーシング

社団法人 日本環境測定分析協会



- ✧ 協会の概要
- ✧ 事業概要説明(1)
- ✧ 事業概要説明(2)
- ✧ 役員紹介
- ✧ 入会案内
- ✧ 委員会紹介
- ✧ 支部活動報告
- ✧ 正会員(法人)紹介
- ✧ 関係機関とのリンク
- ✧ 図書を紹介
- ✧ 機関誌「環境と測定技術」
- ✧ 専門図書の紹介

かけがえのない自然をみつめて...

トップページ



地球環境を診断する

今や世界的規模で環境保全に対する関心が高まっています。地球上の生物がみな安全に快適に暮らせるような環境を維持していくことは、わたしたち人間に課せられた使命であるといえます。JEMCA(日本環境測定分析協会)は環境汚染物質などの測定分析の分野で、美しく豊かな自然の保護に力を尽くしています。



社団法人日本環境測定分析協会
〒104-0042 東京都中央区入船1-9-8ハナブサビル
PHONE,(03)3553-7207~9 FAX,(03)3297-1967
info@jemca.or.jp

図1 日環協のホームページ(トップページ)

版・英語版)を作成しました。^{1~3)}

第2ステップは事務局にパソコン通信を導入することで、広報情報活動に活用するためにパソコンを使った通信手段に慣れることを第一にしました。また、この時期に事務の効率化を前提とした事務局業務のシステム化を合わせて進めてきました。

第3ステップでは、インターネットへの取り組みを開始し、色々な業界や企業のホームページを検索しながら、日環協に求められている広報情報活動のあり方を委員全員で研究しました。そして、日環協のホームページを作成し1998年4月に開設しました。現在では、事務局が収集した情報を

ある程度はタイムリーに会員へ流せるようになってきたと思っています。(表1参照, 図1参照)

日環協URL: <http://www.jemca.or.jp/>

日環協E-mail: info@jemca.or.jp

2. 今後の展開

日環協の事務局は、「信頼される権威あるガイド25の技能試験実施機関を目指す。」「会員にタイムリーな中央情報の提供を心がける。」「各種技術マニュアルの現地検証機関としての役割を果たす。」を重点的に実行することを進めています。これらの方針を効果的に進めて行くには、当委員会が担当しているホームページの活用が不可欠であると思われます。そこで、過去に行われた広報情報活

表2 日環協の「二次情報中期計画(1999~2001年度)」

		1999年度 上期	下期	2000年度	2001年度~
ステップ	方針 テーマ	第Ⅲフェーズその1 「情報の積極的発信」 情報発信サービスによる会員満足度のアップ		第Ⅲフェーズその2 「情報の積極的発信」 継続	第Ⅳフェーズ 「有料データベース構築」
具体的テーマ	事務局	(会員データベースの充実) ・会員情報の充実 ・2000年対応の確認		(会員データベースの充実) ・会員情報の充実	(会員データベースの充実) ・会員情報の充実 (電子会議の試行) ・各委員会 ・理事会
	会員間情報交換	(機関誌) ・技術文献等の検索サービス開始		(機関誌) ・技術文献等の検索サービス	(機関誌) ・技術文献等の検索サービス
		(日環協の宣伝等) ・ホームページの更新	・ホームページの拡充	(日環協の宣伝等) ・ホームページの拡充 ・新しい通信手段の検討~導入	(日環協の宣伝等) ・ホームページの拡充
		(情報発信) ・会員データ(リンク)	・メーリング・リストの検討	(情報発信) ・メーリング・リスト(JEMCA-NET)の試行と導入	(情報発信)
	(フォーラム開催) ・会員の広場試験運用	・会員の広場正式運用	(フォーラム開催) ・会員の広場定着	(フォーラム開催) ・会員の広場拡充	
	会員外情報交換	(各種情報サービス) ・セミナー等の案内 ・環境測定分析技術情報		(各種情報サービス) ・セミナー等の案内 ・環境測定分析技術情報	(有料データベース構築) ・環境行政情報 ・環境測定分析技術情報
設備等の対応		・通信用パソコン類の充実		・事務局内LANの構築 ・JOIS等への加入	・事務局内LANの構築
予算		・ランニングコスト(15万円/月) ・新規開発(75万円)			
備考課題等		・情報業務のアウトソーシング			

動を見直し、これから実行するためのガイドラインである「二次情報中期計画」は次の方針で作成されました。その方針とは、「情報の積極的発信：情報発信サービスによる会員満足度のアップ」を目指すことです。(表2参照)

そのために、ホームページを拡充させて、日環協が過去に蓄積した情報データベースの活用、事務局と会員間の双方向の情報交換を進めることに心がけていくつもりです。

3. 1999年度の広報情報活動

1999年度の活動は、役員改選に伴うホームページの更新、会員満足度アップを目指したJEMCA会員専用ホームページ「会員の広場」の開設により、会員への「環境と測定技術」目次データベース検索サービスの実施、会員専用掲示板を設けて会員と事務局、会員間の双方向の情報交換を実施する計画です。

(1) 委員会構成

委員長：町田 勝(グリーンブルー(株))

委員：広瀬一豊(㈱日本環境測定分析協会)
名取昭平(セイコーアイ・テクノリサーチ(株))

星 正敏(㈱環境技研)

岩下正義(㈱栃木県環境技術協会)

佐々木克典(㈱茨城県公害防止協会)

事務局：鷲 俊雄(㈱日本環境測定分析協会)

(2) 委員会日程

今年度の委員会の開催は5回を計画しています。第1回目は5月で、主に昨年度に検討した「会員の広場」をホームページに新しく組み入れることとホームページの一部更新を検討しました。残りの4回は、8月、10月、12月、2月に実施しますが、「二次情報中期計画」に上げられている新規テーマの実施と、ホームページの拡充に取り組む予定です。なお、「会員の広場」は6月から試験的に運用されていますので、ご利用いただきご意見を

たまわれれば幸いです。

まとめ

広報・情報委員会が1995年に設置され、今年は5年目に入りますが、これからの広報情報活動は「二次情報中期計画」に沿って実施していききたいと考えています。勿論、目指すものは、情報の積極的発信による会員満足度のアップです。なお、委員会では会員皆様からのご意見や提案を、ホームページの拡充のために取り入れていきたいと考えていますので、是非ともそれらの情報を提供いただければ幸いです。また、委員会では新しい委員も募集していますので、多くの会員からの応募を

期待しています。

ご連絡いただければ幸いです。よろしくお願いたします。

参考文献

- 1) 名取昭平；広報・情報委員会'95年度活動計画(案)，環境と測定技術，Vol.22，No.10，55 (1995)
- 2) 広報・情報委員会；日環協・情報中期計画(案)，環境と測定技術，Vol.23，No.4，82 (1996)
- 3) 広報・情報委員会；1996年度実施計画，環境と測定技術，Vol.23，No.8，84 (1996)

環境計量士国家試験問題 の正解と解説 第24回

(社)日本環境測定分析協会 ●A5判 235頁 定価3,885円(本体3,700円)

計量法の改正(平成4年5月)に基づく第5回目の環境計量士国家試験(平成10年3月実施)は、環境計量士制度を見直し、化学分野の濃度関係と物理分野の騒音・振動関係の二つに分割され、より専門的技術に沿ったものとなりました。

(社)日本環境測定分析協会は、早くから各分野の専門家によって、国家試験問題解説書を編集し、受験参考書として出版しておりますが、本書はその最新版であります。過去の出題を学ぶことは、出題範囲を把握すると共に実力を試すための常道であり、合格への近道であります。本書を十分活用することにより、多くの方々が難関を突破できることと確信いたします。

●発売元 丸善

発行 (社)日本環境測定分析協会 〒104-0042 東京都中央区入船1-9-8
TEL 03-3553-7207

